

企画名	船上から手賀沼の生態を学ぼう！ プラス 杉村楚人冠記念館見学
実施団体	<p>団体名 流山市立博物館友の会</p> <p>問合せ先 小島 隆</p> <p>TEL: 04-7146-7203 Email: tony.kojima@fg7.so-net.ne.jp</p> <p>ホームページ: http://hakubutukan-tomonokai.blogspot.jp/</p>
目的	船上講座による手賀沼の生態系や水質問題の深刻さ、そして外来水生植物の影響を流山市民に知っていただく。
日時	2022年10月25日(火) 9:30~12:30
プログラム・概要・ルート等	<p>9:30 我孫子駅改札口に集合 - 徒歩 -</p> <p>9:50 手賀沼の小池(ボート)</p> <p>10:00 遊覧船(向陽丸)出航 船上講座(講師: 聖徳大学講師 相原正義氏)</p> <p>11:05 手賀沼の小池で下船 - 徒歩 -</p> <p>11:15 杉村楚人冠記念館着</p> <p>11:20 学芸員による説明後、自由見学</p> <p>12:30 当館にて解散</p>
参加対象	流山市民
参加人数	<p>一般参加 9名(大人9名)</p> <p>スタッフ 5名(会員2名、講師1名、市職員2名)</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>丁寧に説明する相原講師</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>水辺に繁茂する外来水生植物</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>熱心に質問する参加者</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>ハケの道を移動する参加者</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>楚人冠について解説する武藤学芸員</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>楚人冠邸内にある「澤の家」</p> </div> </div>	
参加者や実施団体の感想	<p>コロナ禍の規制下、定員15名に対して14名の参加申込みがありましたが、開催前日に出された天気予報の影響で直前に5名の参加キャンセルがあり、気温11℃の曇天の中、9名が一般参加されました。8名の方からアンケートをいただきその一部を紹介します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手賀沼の歴史や汚濁の状況、水の浄化など、大堀川と利根川との関係などよく分かりました。 ・水質改善の方法ときれいにする難しさやはびこる困ったナガエツルノゲイトウなどのことが分かりました。 ・なかなか聞く機会のないお話を伺って大変興味深かったです。 ・楚人冠記念館での学芸員さんの説明もとても良かったです。

企画名	手賀沼をもっと知ろう！手賀沼流域の松戸市	
実施団体	団体名	手賀沼流域フォーラム松戸実行委員会
	問合せ先	中岡 丈恵 TEL&FAX : 047-385-8950 Email : naka.hta@kzc.biglobe.ne.jp

◆2011年より、家庭の排水口から手賀沼に至る水調べを実施し、手賀沼汚染の対策として自分ができることを伝えてきました。まとめのリーフレットを作成、流域の小学校等に配付し、手賀沼への関心を広げます。

松戸から手賀沼への水の旅

手賀沼流域フォーラム松戸企画では、手賀沼までの水路や手賀沼での水調べを2011年からずっと続けてきました

手賀沼に到着！
遊覧船に乗って、まず、水調べ！

透視観調べ バックキャストで水調べ

次は生きもの調べ！ モンドリをしがけてこっよ。

手賀沼の歴史も教えてもらったね！ 今はすいすいきれいになったけど・・・

「名鎮」と言われた手賀沼 1955年ころまでは水車の宝庫で自然豊かな沼でした

1954年撮影、前手賀沼漁協組合長 深山正巳氏

手賀沼の流域では、1960年ころから人口が急増し、生活排水がそのまま流れこまれました。生きものがすめないとされるほどよごれ、ヘドロがひどいにおいて、1974年から27年間も日本一よごれた沼（ワースト）でした。

1970年からアオコが発生

市民が自分たちでせけん工場を作り、「水をよごさない」生活をよびかえました。下水道が普及したり、利根川の水を導管（直径3mの鋼管2本）で運び入れ、水質は良くなってきて、2001年にワースト1ではなくなりました。でも環境基準には達していません。横ばいが続いています。

やってみよう！ 私たちにできること

松戸市に住んでいると手賀沼は遠く感じるかもしれませんが、手賀沼のために何ができるかと言われると、何か大げさなことを思いうかべるかもしれません。小さなことと思われることも、一人一人ができることを、みんなですることがたいせつです。松戸の水が手賀沼につながっているということを忘れてください。

水をたいて使おう
家庭で1人が1日に使う水の量 214L。
水道を出しっぱなしにすると1分間に12L流れてしまいます！
* 東京都水道局データ

食べのこしをしない

お皿のふきとりをしよう

水をよごさない！

道路や側溝のそうじ かんきょうにやさしいせっけんを はかって使おう 水きりネット 三角コーナー

編集・発行：手賀沼流域フォーラム松戸実行委員会 2022年9月
手賀沼流域フォーラムは、行政と市民が協働して、手賀沼の水質浄化や環境保全活動を進めています。松戸実行委員会には、これまで市内の様々な団体に協力していただき、地域が手賀沼に与えている環境状態を確認して、浄化に努める活動してきました。

協力：松戸市教育委員会、松戸市消費者の会、生活クラブ生協松戸ブロック、アース・コム・マド、NPO カリエイティブまっとう工房、NPO セットの街松戸、ちば環境再生市民の会
文 責：手賀沼流域フォーラム松戸実行委員会 中岡丈恵
問合せ：松戸市環境部環境保全課 電話：047(366)7337

手賀沼をもっと知ろう！ 手賀沼と松戸市

松戸市で使った水は手賀沼にも流れる！
—小学4年生のけんた君とさやかさんといっしょに調べてみよう—

後のうちで使った水は手賀沼に行くって、おはちゃんが言った

けんた君

うちは下水道に流れるみたいだけど、それからどこへ行くのかな

さやかさん

※ 松戸市から流れる水は、大きく分けて手賀沼に流れる地域と東茨城に流れる地域に分けられます。

※ 松戸市は、「手賀沼流域下水道」と「江戸川左岸流域下水道」の二つの下水道につながっています。

家庭の浄化槽でよごれをへらして流された水は、手賀沼に流れて、利根川に行くよ。

手賀沼流域下水道は、手賀沼終末処理場だよごれをとって、利根川に流れるのね。

手賀沼流域フォーラム学習会でも教わったよ。利根川に流された水は、まだ水溜りとして何度も使われている。

だから、自分の流す水はよごれをいらないでいいかな。

●川から水道の水をとる所 ●下水道のよごれをとった水を流す所

企画名	手賀沼をもっと知ろう！ ～手賀沼流域の水調べと手賀沼船上見学会～	
実施団体	団体名 NPO 法人せつけんの街松戸 問合せ先 川野 美津子 TEL:090-3477-4523	
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・松戸市内の手賀沼に流入する地域を中心とした排水や河川の状況を知ってもらう。 ・手賀沼船上見学を通して生き物などに関心を持つ人を広げる。 	
日時	2022年8月20日(土) 10:00～15:30	
プログラム・概要・ルート等	<p>9:45 松戸市役所議会棟地下1階ロビー前で受付開始</p> <p>10:00 松戸市役所発</p> <p>10:50 手賀沼親水広場着 水の館3階研修室へ移動</p> <p>11:10 研修室で手賀沼の概要説明</p> <p>12:00 昼食・自由行動</p> <p>13:00 バスへ直接集合・揃い次第手賀沼親水広場発</p> <p>13:05 手賀沼公園着 遊覧船乗り場へ移動</p> <p>13:20 遊覧船乗船 水調べ</p> <p>14:20 遊覧船下船 1日のまとめ バス乗り場まで移動</p> <p>14:40 手賀沼公園発</p> <p>15:30 松戸市役所着 順次解散</p>	
参加対象	小学生(保護者1名以上の同伴必須)	
参加人数	一般参加 3名(大人1名、小学1名、高校1名) スタッフ 3名(会員1名、市職員2名)	
実施風景(写真4～6枚程度、説明を入れてください)		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>CODパックテストを実施しました。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>比色板を使用しCODの値を確認しています。</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>遊覧船に乗りました。 鳥や魚などの生き物も確認できました。 また、手賀沼の現在の水質状況も学習できました。</p> </div>		
参加者や実施団体の感想	<p>【参加者アンケートより】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが興味をもって環境について楽しく学べていた。 ・また機会があれば参加したい。 ・家でも家庭排水について考えてみようと思う。 	

企画名	鎌ヶ谷市内（大津川流域）でお米を収穫しよう
実施団体	団体名 鎌ヶ谷・大津川を清流にする会 問合せ先 代表 井上 毅 TEL:080-6520-3118 Email:
目的	大津川流域で稲刈りなど米の収穫や清掃作業を行い、水辺環境保全の重要性を学ぶ
日時	2022年9月25日（日）9:30～12:00
プログラム・概要・ルート等	9:00 スタッフ集合（北部公民館玄関前） 9:30 参加者集合（同） 主催者挨拶・講師挨拶 会場へ移動 9:45 開始 （1）母路橋付近で大津川の変遷や清掃活動等をパネル展示 （2）北部公民館から母路橋・カバ田んぼ周辺で大津川の清掃活動 （3）母路橋付近のカバ田んぼで稲刈り及び脱穀体験 11:30 終了 主催者挨拶 解散
参加対象	市内在住の小学生（保護者同伴）
参加人数	一般参加8名（大人3名、幼児2名、小学3名） スタッフ22名（鎌ヶ谷・大津川を清流にする会 13名、講師カバ田んぼの会 6名、市職員3名）
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>大津川についてパネルで学習</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>熊手竹竿を上手に使う</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>親子で一緒に清掃活動</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>稲刈りに初挑戦！</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>昔ながらの足踏み脱穀機で</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>手作業でふるいにかけて</p> </div> </div>	
参加者や実施団体の感想	体験活動を通じて、水辺環境保全の重要性が理解された。 参加者からは、大津川について「大切にしたい」「もっと知りたい」「また来てみたい」など、米の収穫作業については「楽しかった」「つくる人の苦労がわかった」といった感想が寄せられた。

企画名	竹炭・華炭を焼こう～間伐した竹や木の実を使って～
実施団体	団体名 栗野の森の会 問合せ先 代表 小出 順子 TEL: 090-6309-4379 Email: tatutojun@ozzio.jp
目的	森を侵食する竹を間伐し、松ぼっくりや木の実とともに蒸し焼きにして炭をつくる。出来上がった炭はかごに飾って持ち帰り、森林保全活動の大切さを伝える。
日時	2023年1月21日(土) 13:30～15:30
プログラム・概要・ルート等	集合時間 13:30 集合場所 栗野地区公園内原っぱ(栗野地区公園中央口向側) 作り方の説明の後、5～6名の4班に分かれて実施。各班で一斗缶を2缶に新聞紙等で燃料の落ち枝に火をおこし、その上に炭材を入れた菓子缶を乗せ蒸し焼きにする。でき上がった炭はかごに飾って持ち帰る。 炭材 マダケ・ハス・モミジバフウ・ストローブマツ・テーダマツ 燃料 マダケ・シラカシ・スギ・コナラなど
参加対象	鎌ヶ谷市民(小学生以下は保護者同伴)
参加人数	一般参加22名(大人20名、小学2名)、スタッフ10名(会員8名、市環境課2名)
<p>竹炭・華炭を焼こう</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>強火で蒸し上げます</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ボクも頑張ってます</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>できあがったかな？</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>きれいな華炭ができました！</p> </div> </div>	
参加者や実施団体の感想	当日は風が強く、煙が流れて作業しづらかったが、きれいな竹炭・華炭ができあがった。 参加者からは「炭づくりを学べてよかった」「炭の効用について勉強になった」「家で飾りたい」などの感想があった。

企画名	ダチョウのひみつ&バードグライダーをつくろう					
実施団体	団体名 白井環境フォーラム実行委員会 問合せ先 白井環境フォーラム実行委員会事務局 TEL: 047-401-5409 Email: kankyout@city.shiroi.chiba.jp					
目的	手賀沼流域フォーラム全体企画「手賀沼流域7市巡回～野鳥写真展～」の開催に併せ鳥の不思議な生態や魅力を伝えるこども向けワークショップを開催し自然環境の大切さについて学ぶきっかけとする。					
日時・場所	2022年8月4日(木) 13:30～15:00					
プログラム・概要・ルート等	第1部 ダチョウのひみつ ダチョウの全身骨格標本を組み立てながら、クイズを交えた説明を聞きダチョウの不思議な生態について知る。 ① 第2部 バードグライダーをつくろう 講師から飛行の仕組みや鳥の飛び方について説明を聞いたあと薄い発泡スチロールの板を使ったバードグライダーを作って飛ばし、鳥の飛ぶ仕組みについて知る。 ※ワークショップ終了後同時開催の「手賀沼流域7市巡回～野鳥写真展～」を見学、スタッフの説明を聞くなど鳥についての理解を深めた。					
募集対象	小学生25名 保護者の見学可					
募集人数	一般参加 30名(大人10名、小学20名)、スタッフ13名(会員10名、講師3名)					
駝鳥と駱駝 顔がそっくり 講師の説明でバードグライダー作り	骨格標本の組み立て	飛行の仕組みと鳥の飛び方の説明	野鳥写真展でスタッフの説明を聞きながら見学する参加者			
						
						
講師:我孫子市鳥の博物館 学芸員 染谷実紀さん・村松和行さん、ボランティア 諏訪吉昭さん						
参加者や実施団体の感想	クイズ形式でダチョウの生態がわかりやすく良かった。大きさが実感できた。飛ぶ鳥との骨の違いが分かった。説明がとても分かりやすく白井の自然が豊かだと深く考えることができた。飛ぶ仕組みがわかった。工作が苦手でも簡単にでき楽しかった。写真展では身近な鳥の名前が分かった。					

<p>企画名</p>	<p style="text-align: center;">竹林の間伐材を使って「ミニ門松づくり」</p>
<p>実施団体</p>	<p>団体名 NPO 法人しろい環境塾 問合せ先 興津 功 TEL : 047-404-3298 Email : shiroikakyojuku@kce.biglobe.ne.jp ホームページ : http://www.kankyojuku.jp/</p>
<p>目的</p>	<p>竹林の間伐によって切り出された竹などを使ってお正月飾りのミニ門松をつくる。</p>
<p>日時</p>	<p>2022年12月17日(土) 9:30~12:00</p>
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>9:30 集合 しろい環境塾ベースキャンプ 9:35 開会 理事長挨拶 9:45 ミニ門松づくり開始 11:30 完成片付け 11:45 ミニ門松披露 12:00 閉会 理事長挨拶</p>
<p>参加対象</p>	<p>一般 10組</p>
<p>参加人数</p>	<p>一般参加 20名(大人18名、小学生2名)、スタッフ5名(会員4名、講師1名)</p>
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>間伐材の前で参加者に説明</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>具体的な作り方を説明</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>親子で真竹を切ってみよう</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>竹を立てて松で飾ります</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>蠟梅や南天をさして綺麗に!</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>今年の門松どうでしょうか</p> </div> </div>	
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<p>(参加者) ・貴重な経験でした。良いお正月が迎えられそうです。 ・来年も是非、参加したいです。 (実施団体) ・下手賀沼に隣接する白井市平塚の竹林の間伐で出た竹を材料にお正月の門松(ミニ)をつくりました。 ・藁や松、飾り物の南天、蠟梅も集落の農家からの協力によって集められたものです。</p>

<p>企画名</p>	<p style="text-align: center;">手賀沼船上親子観察会</p>
<p>実施団体</p>	<p>団体名 印西 水と暮らしを守る会 問合せ先 竹内順子 TEL : 090-3907-8355 Email : inzaimizukura@yahoo.co.jp</p>
<p>目的</p>	<p>手賀沼流域の川を船でめぐり、豊かな生態系にふれる。また、中央公民館で私たちの飲み水はどこから来て、どこへ流れて行くのか、また手賀沼と流域に繁茂している外来水生植物がどのような問題を及ぼしているかを学ぶ。</p>
<p>日時</p>	<p>2022年7月30日(土) 10:00~12:00</p>
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>※印西市立中央公民館共催事業、協力NPO法人いんざい水の郷ネットワーク 集合 印西市中央公民館 1階 ロビー 9:50 開会 挨拶、スケジュール、注意事項説明 10:00 2班に分かれて活動 A班：①⇒② B班：②⇒① ①六軒川、弁天川、手賀川を船で巡る自然観察 (担当 NPO 法人いんざい水の郷ネットワーク) ②公民館視聴覚室での手賀沼周辺の環境学習 (担当 印西 水と暮らしを守る会) ・「私たちの飲み水、捨て水」を学ぶ。 ・ワークショップ「水を汚す原因は?」「家庭のどこから汚れた水を出しているか?」 ・「手賀沼と流域の外来水生植物」について学ぶ。</p>
<p>参加対象</p>	<p>市内在住の小学生とその保護者</p>
<p>参加人数</p>	<p>一般 28名 (大人 14名、小学生 14名)、スタッフ (会員 4名、中央公民館 3名)</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="167 1153 574 1444">  <p>2隻の屋形船に乗り込む</p> </div> <div data-bbox="590 1153 997 1444">  <p>いんざいぶらり川めぐり</p> </div> <div data-bbox="1013 1153 1420 1444">  <p>お皿の汚れそのまま洗い流すと?</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="167 1523 574 1825">  <p>家庭のどこからどんな汚れを出しているかな?</p> </div> <div data-bbox="590 1523 997 1825">  <p>汚さないようにするには?</p> </div> <div data-bbox="1013 1523 1420 1825">  <p>外来水草が手賀沼と流域に繁茂しているよ</p> </div> </div>	
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<p>(参加者アンケートより) ◆夏やすみの自ゆうけんきゅうにしたいと思います。◆付箋に記入したりして聞くだけでなく、参加型でよかった。◆ハスが消えた原因を知りたいです。◆乗船中もたのしい説明をずっとしていただき、たくさんのことを学び楽しめました。1つの川かと思っていましたが、4つの川も名がかわり、驚きました!視聴覚室の講義も大変ためになりました!子供も参加型で楽しめたようです。◆環境のことを勉強する機会になって良かった。</p>

企画名	亀成川流域里山散策会「冬鳥を探そう！」	
実施団体	団体名 NPO 法人亀成川を愛する会 問合せ先 NPO 法人亀成川を愛する会 事務局 TEL : 090-3907-8355 Email : kamenarilove@yahoo.co.jp ホームページ : http://www.kamenari-love.com/	
目的	亀成川支流古新田川最上流部である別所谷津公園、調節池、別所緑地一帯を巡る園路を散策ながら水辺や樹林の中の野鳥を観察していきます。亀成川流域の里山には、貴重な生態系と豊かな生物多様性が残っており、とりわけ冬鳥の種類の数には驚かされます。小学生のお子さんや保護者の方々に、野鳥観察を体験することにより、この一帯の自然に親しみ、関心を持ってもらいます。	
日時	2023年2月5日(日) 9:30~12:00	
プログラム・概要・ルート等	9:20 受付開始 野鳥チェックリスト配付 野鳥ビンゴ記入 9:30 開会 講師 我孫子野鳥を守る会 桑森さんより、探鳥のポイント、双眼鏡の使い方の説明 9:40 出発 探鳥開始 2班に分かれる。※もう1班は逆回りコース 牧の原地域交流センター駐車場 ⇒別所谷津公園⇒別所防災調節池西側園路⇒別所緑地西側園路⇒古新田川上流部 ⇒折り返し⇒調節池北側通路⇒調節池東側園路⇒牧の原地域交流センター駐車場 11:45 鳥合わせ・ビンゴの景品として野鳥カード(我孫子野鳥を守る会用意)配付 12:00 閉会	
参加対象	子ども(保護者同伴)から大人まで	
参加人数	一般45名(大人25名、子ども20名)、スタッフ21名(会員大人13名、子ども8名、講師 我孫子野鳥を守る会10名)合計76名	
 <p>オンドリが見えるよ！</p>	 <p>マガモのはるか後方にオンドリの群れ</p>	 <p>双眼鏡でもよく見えるよ</p>
 <p>古新田川上流部</p>	 <p>最後は鳥合わせ、いくつビンゴができたかな？</p>	 <p>確認した鳥は29種</p>
参加者や実施団体の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・申込みが殺到。キャンセルを見越して多めに受付けたが、当会の家族会員の参加も増え大人数となった。急遽2コースに分かれて探鳥したことで、無理なく催行できた。 ・我孫子野鳥を守る会の皆さんがスコープで野鳥を捉え、参加者に見せてくださり皆さん大満足だった。 ・確認した種数はまずまずだったが、鳥の総数は減ってきている。 ・手賀沼流域フォーラム実行委員会の双眼鏡10個を用意し、参加者に貸し出した。 	